

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立原山ひかり小学校
校長 妹背 成重

中学校区におけるめざす子ども像

学び続ける力を未来の「働くこと」につなげる子 ～愛学 健～

令和6年度 重点目標

「1. どの子どもを取り組める授業の創造（授業のユニバーサルデザイン化） 2. 豊かな人権感覚の育成、多様性を認める学校生活の創造 3. 校種間連携と地域協働型教育の推進 4. 特別支援教育の推進と個に応じた指導の充実」を重点目標とし、本校の教育目標「豊かな人権感覚を持ち 主体的に学び 心身ともに健康な子どもの育成 ～自ら考え、決断できる子を育てる～」を実現する。

「確かな学び」の現状

- ・授業で、自分で課題を見つけて、情報を集めて整理し、調べたことを発表することについて取り組んでいる児童が多く、またパソコンを使った授業についても慣れており、現代社会における力は備えている。
- ・学習においても生活面でも、子どもたちの中で倫理観はしっかりと育っている。
- ・各種学力調査の結果から、表現することが不得意な子どもが多いことが明らかになっている。学力の二極化があり、個々に応じた対応が大きな課題となっている。

「豊かな心・健やかな体」の現状

- ・スポーツテストの結果より、少しずつ記録が上昇し、堺市平均や全国平均を上回っている種目が多い。また、運動が好きな児童も多く、体育の授業について力を入れていることから効果も上がってきていると思われる。
- ・朝ご飯については食べている児童が多いが、睡眠時間については短い児童の割合が高い。今後も保健指導を通して生活習慣の改善を図る必要がある。
- ・基礎学力についてきちんとついていない子どもが少なくない。普段の学習態度の指導を継続していく必要がある。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況 (年度末)			
								自己評価	学校関係者評価		
確かな学び	基礎・基本の定着	読む・書く・計算する力を継続的に育成する。	朝の学習で基礎学力プリントを実施し、基礎・基本の定着を図る。	定着度テストを行う。	定着テスト	半期	○ 校内に掲示し、朝会で表彰しており、意欲が向上している。	○	朝の学習では、基礎基本を中心とした学習に取り組んできた。また、自主学習ノートについては毎月表彰を行う中で子どもたちの中で調べたいという動機付けが高まっていった。	○	表彰をするなど子どもが頑張った成長や過程がみんなの前で褒められる経験は自己肯定感が持てるので続けてほしい。
			★自主学習ノートを、全クラスで点検や評価を行い、子どもの意欲につながるよう継続的に行う。	全員が取り組めるように指導を行う。	実践報告	学期末		○	○		
	授業改善	子どもが考え、決断する授業を展開し、主体的に対話的で深い学びを追究する。	全学年が公開授業を行うとともに、GIGA 端末を積極的に活用する。また検討会に参加することで、授業力を向上させる。	各学年が授業公開を実施している。	実践報告	年度末	○ 高学年においては自分の考えを深めるためにも、GIGA 端末を日常的に使用しており、考えをまとめることに利用している	○	公開授業を実施し、自分で考えを持ち、それを他の人にわかるように書く授業を行い毎回討議を行った。	○	子どもたちが自分で考えたことを失敗や間違いを恐れず発表できる場は大切です。コミュニケーション能力も培われると思います。
●授業において、必ず考える場面を取り入れ、自分の考えをノートに書くことを大切にするとともに、ICT の活用をすすめる。			自分の考えを人にわかるようにノートに書かせ、なぜそう決めたのかを必ず振り返らせるようにする。また GIGA 端末を活用して自身の思考を可視化する。	学校教育自己診断 実践報告	年度末	○		自分の考えを書き、それを他人に伝えることでお互いの交流になる授業内容が多くなった。	○		
★考えを持ち、深める活動を大切に、それを発表し交流できるようにする。			自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。	質問紙等調査 実践報告	年度末	○		また、ICT 活用をすすめる自分の考え方の表現に役立てた。	○		
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	人権教育を基盤とした教育を充実させ、豊かな人間性を育成する。いじめを許さない心を育てる。	●全教科を通して、人権教育の視点を大切にするとともに、道徳教育の充実を図り、いじめを許さない心を育てる。	道徳ノートやワークシートを通じて子どもの成長を読み取る。いじめアンケートを行い、対応を積極的に行う。	実践報告 学校教育自己診断	年度末	○ 道徳教育や障害理解教育を進めている。各種アンケートで子どもの状況を教職員で共有している。	○	道徳について研修等で人権の視点での指導をより明確に共有できた。	○	他学年との交流や人権について考える機会を増やすことで自分のことも他者のことも大切にできる力を今後もつけてほしい。
			★自分の良いところに気づかせる取り組みを繰り返す中で自尊感情を高める。	「自分には良いところがある」と答える自己肯定感を持っている。	質問紙等調査	年度末		○	友だちの良さを見つけることで自尊感情を高めることができた。	○	
			学級会、児童会活動などを充実させ、お互いの考えを出し合う中で自他の良さを認め合うことができるようにする。	友だちの良さを認め合うことができている。	実践報告	年度末		○	学級会や児童会活動を通じて他学年の良さについて気づくことができると同時に、次年度、次々年度の自分の姿を見つけることができた。	○	
体力向上	運動や健康に関心を持たせ、体力向上・健康増進を図る。	・6年間、系統立った体育の授業を行うことで発達段階に合う指導ができ、学校全体の体力向上を図る。	スポーツテストの結果。	実践報告	年度末	○ 1学期に鉄棒を行い、体力向上に努めている。3学期には、なわとびを行うよていである。食に関することを、栄養士を中心に給食委員会が啓発している	○	運動領域を揃えることで、鉄棒やなわとび、跳び箱など楽しく運動に取り組む技能向上につながった。栄養士の先生が配属されたことで、食についても子ども自身が、意識するようになった。	○	休み時間の遊びから外で運動する工夫をすともっと体力が上がると思います。	
		●保健の授業を通じて、児童が自らの健康に対して取り組む力をつける。	それぞれの実践後の結果。児童の食や睡眠のアンケートで GIGA 端末を活用して集計し、まとめた結果等。	実践報告 質問紙等調査	年度末		○	○			
地域協同	信頼される学校	学校の状況を積極的に情報発信するとともに、地域とともに歩む学校づくりを進める。	学校ホームページ、校報等を活用し、教育活動の現状と成果の発信に努める。	学校ホームページを積極的に更新する。校報の地域への配布。	実践報告	学期末	○ 生活科や総合の学習などでの地域との交流を深めている。またこども食堂や地域清掃、地域の祭りなどの行事にも積極的に参加している	△	ホームページについては、昨年度程度となった。次年度は、さらに更新するように心がけたい。	○	いつも地域との交流について積極的に参加していただきありがとうございます。今後も地域との交流を深めてほしいと思います。
			●地域人材を積極的に活用するとともに、地域とともにあゆむ学校づくりを行う。また地域行事にも積極的に参加する。	学校の教育活動をサポートしていただく機会を増やす。地域行事への参加を増やす。	実践報告	年度末		○	○		

校長より (年度末)

地域の方々との交流だけでなく、こども園などとも交流する機会を増やすことができました。今後も地域の方々との交流するとともに学校の教育活動を支えていただければと思います。また、様々な自尊感情を高める試みも行ってきました。子どもたち自身の良さを見つけて行けるように今後も取り組んでまいりたいと思います。

学校関係者評価者から (年度末)

一年間様々な取り組みありがとうございました。地域との交流も積極的に行ってくれてありがとうございます。今後もいろいろと情報共有をしながら子どもたちの成長につなげていきたいです。